

船舶事業

1. 概況	403
2. 経営の基本	403
3. 事業実績	405
4. 財務	406

▶ 第二桜島丸（サクラフェアリー）



船 舶 事 業

1 概 況

本市の船舶事業は、旧桜島町で運営していた交通事業（桜島フェリー）を引き継ぎ、平成16年11月1日に、本市の第4番目の公営企業として事業を開始した。

桜島フェリーは、昭和9年、旧西桜島村の村民の生活航路・通学航路として事業を開始して以来、桜島地域と市街地のみならず、薩摩・大隅両半島を結ぶ海上交通機関として、重要な役割・使命を担っている。

この間、人道橋・可動橋等接岸施設の設備充実を図るとともに、船舶の大型化を図り、現在、船舶6隻を保有し、1日70航海（140便）の24時間運航をしている。

桜島フェリーは、本市における総合的な交通体系の中に位置付けられるとともに、鹿児島が世界に誇る自然の観光資源である桜島へのアクセスであり、都市型施設と一体となって本市の観光振興に寄与することや、桜島の火山活動の活発化に伴う島内住民の避難に要する救護船舶としての役割を求められている。

船舶事業としては、輸送車両の小型化等により収益が減少する中、船舶燃料価格の高騰に加え、老朽化施設の整備及び船舶の建造等を行う必要があることから、各面からの経費節減・増収対策など、より一層の経営の健全化に取り組むとともに、乗客の多様化するニーズに応え、利便性の向上を図るなど、幅広い立場からの乗客サービスの向上に努めている。

平成27年度は、錦江湾の湾奥を巡る錦江湾魅力再発見クルーズを12回運航するとともに、よりみちクルーズ船を年末年始を含め毎日運航するほか、27年度に就航した新船を活用し、ロングクルーズ船の運航を予定している。

また、桜島港フェリー施設整備事業、避難港離着岸訓練等を行い、公共交通機関としてより安全で快適な運航・効率的な事業運営に努めることとしている。

2 経営の基本

(1) 設 置

市民の海上交通を確保するとともに、福祉の向上に資するため、船舶事業を設置し、企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するように運営するものとする。

(2) 事 業（創業 昭和9年12月1日）

- ①事業区域 鹿児島湾内の平水区域
- ②事業航路 ア 一般旅客定期航路 桜島～鹿児島航路
よりみちクルーズ船航路
- イ 旅客不定期航路 鹿児島湾内
- ③事業用船舶の数 6隻

- ウ 36枚綴り 自動車航送運賃の30倍の価額
（3 m以上 4 m未満・4 m以上 5 m未満以外の車長）

④ 定期旅客運賃

○定期1か月乗船券

- ア 通勤（大人）・・・基準となる普通旅客運賃を60倍した額の5割5分引
イ 通学（大人）・・・基準となる普通旅客運賃を60倍した額の8割5分引
ウ 通学（小児）・・・イに掲げる方法により算出された額の2分の1

⑤ 旅客不定期航路に係る料金

種 類	納涼観光船	錦江湾魅力再発見クルーズ船
大 人	1,000円	1,000円
小 児	500円	500円
ファミリー乗船券	2,400円 ※4人（うち大人2人まで）	

⑥ 貸切料金

区 分		料 金
2層積船舶	納涼船の運航期間内	1隻につき472,500円
	納涼船の運航期間外	1隻につき425,250円
1層積船舶	納涼船の運航期間内	1隻につき378,000円
	納涼船の運航期間外	1隻につき340,200円

3 事業実績

(1) 運輸実績（一日平均）

区 分		年 度	22	23	24	25	26
営業航路（km）			57.8	57.8	57.8	57.8	57.8
運航路線数（本）			3	3	3	3	3
在籍船舶（隻）			6	6	6	6	6
一日平均	運航キロ（km）		596.7	584.7	586.7	590.2	583.0
	旅客（人）		9,522	10,057	9,851	10,070	9,456
	車両（台）		3,964	4,064	4,119	4,183	4,006
	運航収益（円）		5,756,975	5,950,407	5,979,339	6,059,671	6,039,791

(2) 収支概要

（単位：千円）

区 分		年 度	22	23	24	25	26
総 収 益	①		2,222,832	2,394,713	2,293,497	2,338,908	2,514,531
総 費 用	②		2,207,140	2,344,382	2,302,213	2,263,638	2,448,536
差 引	① - ②		15,692	50,331	△8,716	75,270	65,995
収益率	① / ②（%）		100.7	102.1	99.6	103.3	102.7

4 財 務

(1) 予算概要 (平成27年度)

(単位:千円)

収 入		支 出	
款 項 目	予 定 額	款 項 目	予 定 額
収益的収入	2,810,378	収益的支出	2,639,461
1 船舶事業収益	2,810,378	1 船舶事業費	2,639,461
1 営業収益	2,580,271	1 営業費用	2,585,621
1 運航収益	2,514,638	1 旅客・車両航送取扱費	2,405
2 運航雑収益	40,729	2 動力費	343,481
3 附帯施設収益	24,904	3 船舶運航費	838,238
2 営業外収益	179,038	4 運航管理費	122,878
1 受取利息	54	5 船舶修繕費	13,249
2 他会計負担金	16,724	6 船舶検査費	201,210
3 他会計補助金	22,542	7 業務費	277,309
4 長期前受金戻入	133,809	8 営業費	73,829
5 雑収益	5,909	9 遊覧船運航費	27,142
3 特別利益	51,069	10 航路附属施設管理費	92,680
1 固定資産売却益	51,069	11 一般管理費	241,386
		12 減価償却費	351,731
		13 資産減耗費	83
		2 営業外費用	32,577
		1 支払利息	21,615
		2 繰延勘定償却	103
		3 消費税及び地方消費税	10,859
		3 特別損失	11,263
		1 その他特別損失	11,263
		4 予備費	10,000
		1 予備費	10,000
		収支差引	170,917
資本的収入	1,730,082	資本的支出	1,942,539
1 資本的収入	1,730,082	1 資本的支出	1,942,539
1 補助金	241,270	1 建設改良費	1,737,166
1 国庫補助金	160,000	1 桜島港施設整備事業費	1,726,129
2 他会計補助金	81,270	2 車両運搬具購入費	2,394
2 企業債	1,462,400	3 工具、器具及び備品購入費	8,643
1 企業債	1,462,400	2 企業債償還金	106,629
3 固定資産売却代金	26,412	1 企業債償還金	106,629
1 固定資産売却代金	26,412	3 船舶建造年賦支払金	98,744
○ 損益勘定留保資金等	212,457	1 船舶建造年賦支払金	98,744
合 計	4,752,917	合 計	4,752,917

(2) 各年度損益計算書(税抜)		(単位:千円)	
科目	年度	26	27(予定)
1 営業収益		2,263,677	2,389,147
(1) 運航収益		2,204,524	2,328,372
(2) 運航雑収益		36,423	37,715
(3) 附帯施設収益		22,730	23,060
2 営業費用		2,366,535	2,514,418
(1) 旅客・車両航送取扱費		1,404	2,391
(2) 動力費		317,779	318,039
(3) 船舶運航費		842,810	834,960
(4) 運航管理費		99,242	122,046
(5) 船舶修繕費		34,006	12,269
(6) 船舶検査費		145,219	186,635
(7) 業務費		263,612	261,891
(8) 営業費		67,488	72,548
(9) 遊覧船運航費		21,284	25,339
(10) 航路附属施設管理費		77,409	85,835
(11) 一般管理費		231,702	240,651
(12) 減価償却費		264,565	351,731
(13) 資産減耗費		15	83
営業損益		△102,858	△125,271
3 営業外収益		164,996	178,633
(1) 受取利息		193	54
(2) 他会計負担金		16,264	16,724
(3) 他会計補助金		33,578	22,542
(4) 国庫補助金		0	0
(5) 長期前受金戻入		108,372	133,809
(6) 雑収益		6,589	5,504
4 営業外費用		14,113	21,718
(1) 支払利息		11,307	21,615
(2) 繰延勘定償却		103	103
(3) 雑支出		2,703	0
經常損益		48,025	31,644
5 特別利益		85,858	47,287
6 特別損失		67,888	10,429
7 予備費		0	10,000
当年度純損益		65,995	58,502

<× ㄇ>